



きりしき

渡部 千代子

第64号

平成25年10月12日発行

〒338-0011

さいたま市中央区新中里2-8-6

TEL 048-858-6655

社会福祉法人 明日栄会

発行責任者 金子 光子

HP : <http://www.kirishiki.jp/>



長寿



今年も百歳以上の利用者様が三名いらっしゃいました。最年長は百〇三歳です。



九月十四日に敬老会が行われました。今年も多くのご家族様、地域の方々にご参加いただき誠にありがとうございました。今年も食事会は各棟での食事となり、豪華な食事を皆様おいしそうに召し上がっておられました。

敬老会

食事終了後の催しは、浦和児童合唱団の皆様による合唱、ピアノ演奏が行われました。子供たちの登場に、利用者の皆様やご家族様にも笑顔がこぼれていらっしゃいました。子供らしい曲目から、利用者様にもなじみのある曲目も披露していただき、最後には会場の皆様が一体となって「ふるさと」を唄い、笑顔あふれる楽しいひと時を過ごすことができました。



この度は、ご家族様、地域の皆様のご協力のもと敬老会を無事開催することが出来ました。誠にありがとうございました。

納涼祭

八月三日我真夏の風物詩「きりしき納涼祭」が行われました。多くのご家族様や地域のボランティアの方々のご協力のもと、利用者様やご家族様のみならず職員一同も合わせてお祭り気分を存分に楽しみました。



お食事は、屋台で焼きそば、つくね、かき氷、綿あめ等が並び、屋内ではご家族様や地域の方々に協力してお造りいただいたおまんじゅう等、お祭りならではの食べ物を皆様にご堪能いただけたと思います。納涼祭の最後には、毎年恒例となっている花火大会が行われました。本物の花火師に依頼したナイアガラは圧巻で、皆様が感動されておりました。



今年の納涼祭も無事に終える事が出来ましたが、皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

「避難訓練実施」

上峰デイサービス

利用者様と職員一同、本番さながらの避難訓練が実施されました。厨房から出火という想定のもと、安全に外まで避難し、中央消防署の職員さんから消火器の使い方、ピン・ポン・パン(ピンを抜く、ホースの先を持つ、レバーを握る)を教えてください。初期消火の大切さを皆様で実感した貴重な一日でした。(七月二十二日)



吉武まゆみ様もかいた仲間達コンサート

七月三日(水)どこよりも早く、織姫様が情熱的なフラメンコダンスとソプラノ歌手とピアノ奏者の三名のゆかいな仲間達を引き連れて、「ここ「きりしき」に舞い下りてくださいました。



素敵な歌の数々や赤いドレス

でのダンス。

今年も利用者皆様を魅了して歓喜のあらしでした！

来年も織姫様方が来て下さるよう短冊に願いをしたためておりました。

吉武大地さんコンサート

七月六日、吉武大地さんコンサートの鑑賞に「彩の国さいたま芸術劇場」までお出かけして来ました。

コンサート前に、ホテルにてオムライスとデザートを食べました。普段では、なかなか食べる事の出来ないメニューで皆様とても喜ばれておりました。

会場に到着し、吉武大地さんをはじめとしたメンバーでのコンサート「大地の詩」が始まりました。

芸術劇場で聴くコンサートの音楽はとても感動的で、皆様もその雰囲気存分に楽しまれうっとりとしておられました。

是非、次回のコンサートにも行きたいと感激されていきました。



8020授賞式!

80歳で20本以上自分の歯を保とう!



きりしきでは七月に歯科全体検診を行いました。毎年この時期はとも楽しみでもあり緊張する時期でもあります。なぜなら8020の授賞式を兼ねているからです! 年々、口腔ケアの重要性が認識されてきており、今年には九名の方が受賞されました。来年も多くの方が受賞できるよう口腔ケアに取り組んでいきたいと思えます。

「8020運動」とは「八十歳になっても二十本以上自分の歯を保とう」という運動です。親知らずを除く二十八本の歯のうち、少なくとも二十本以上自分の歯があれば、ほとんどの食物を噛みくだくことができ、おいしく食べられるからです(8020推進財団より)。

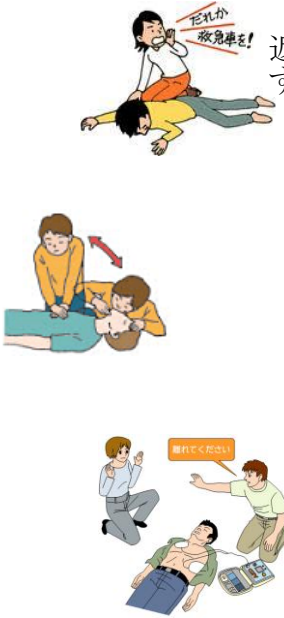
「心肺蘇生法」研修

きりしきでは、さいたま市中央消防署指導のもと、心肺蘇生法の研修会を七月に開催しました。

研修では、救急車到着までに心肺蘇生法を行う事の重要性の説明のあと、参加者全員が人形を使つての実習を行い、最後にAEDの使用方法についての説明を受けました。

心肺蘇生法についてのポイント

- ① 意識の確認（倒れている人の肩を叩きながら大きな声で呼びかける）
 - ② 周りの方に協力依頼の声かけをし、分担支持（救急車を呼んでもらう人・AEDを持ってきてもらう人）
 - ③ 呼吸の確認（胸と腹部の動きを見て「普通どおりの呼吸」かを確認、無い場合は心停止とみなす）
 - ④ 胸骨圧迫（三〇回）の実施
 - ⑤ 気道の確保と人工呼吸
- 救急車とAEDが到着するまで、④胸骨圧迫を三〇回、⑤人工呼吸を2回を繰り返す



地域包括支援センター

「バラのまち与野のつどい」 （介護者サロン）

中央区地域包括支援センターでは区内二包括および社団法人 認知症の人と家族の会 埼玉県支部との共催にて、介護する人への支援体制づくりとして「バラのまち 与野のつどい」（介護者サロン）を開催しております。

今回は九月二十六日に行いましたつどいの報告をさせていただきます。介護の悩みは家族間でもなかなか相談しづらく抱え込んでしまうというのを多々耳にします。このつどいではそういった悩みを介護者同士語り合える場となっております。自己紹介には始まり、介護における困っていること等をお互いに語り合いました。きりしきでの開催時は、毎回多くの参加者が集まります。最近では一つのテーブルでは収まりきれない程の参加がありテーブルを増やすか、開催日を増やすか検討が必要な程です。今回も介護者の方だけでなく、関係機関の方等の参加もあり、大変、賑わいました。

次回の「きりしき」での開催は来年一月を予定しております。介護者の皆様の参加をお待ちしております

「認知症サポーター養成講座」

を開催しました



きりしきでは今年も「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

高齢化が進み、同時に認知症になる方の数も年を追うごとに増えています。

認知症に関する理解を深めていき、認知症になった方やその家族が安心して暮らしていけるよう、地域の方々を対象に講座を開催しています。

今回は八月二十七日に武蔵野銀行 与野支店で開催。講義だけでなく、寸劇や施設長による「フレディの遺言」の朗読等、盛りだくさんの内容で行い、「認知症の事を楽しく理解する事ができた。」等の反響をいただきました。